

◆相撲に魅せられた女性画家

4月6日から《南魚沼市市制施行20周年記念事業》北里大学健康科学部開設記念「葦崎大村美術館所蔵品展」を開催します。葦崎大村美術館は2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智博士が長年蒐集された美術作品を展示する美術館で、今回の展覧会では大村氏が蒐集した美術作品の中から、女性作家の作品を多数展示します。

4月14日(日) 15時から大村智博士の講演会「私が愛する美術コレクション」を開催します。美術との出会いから現在まで、興味つきなお話になると思います。定員制になりますので、お早めにおいでください。

それに先立ち、3月26日まで「収蔵品展」として、当館で収蔵している女性作家ラグーザ・玉とリン・スターム・レイビの作品を展示中です。リン・スターム・レイビはニューヨーク生まれのアメリカ人アーティストで、相撲に魅せられ、男性社会と言われる角



堀文字「大神楽」2001年

界で、地方巡業や相撲部屋の稽古に取材に行き、相撲文化を深く取材した作品を描きました。1970年代に活躍した横綱の輪島や若乃花など、往年の力士が描かれています。3月26日までの開催となりますが、ぜひご来館ください。(広田かおり)

◆イベントのお知らせ

滅多にない少雪の冬が終わり、草木が芽吹き、魚沼に春がやってきました。イケビは今年度もたくさんの講座やイベントを開催します。館内では、新潟日報カルチャースクールをはじめ、スポーツ&ライフ南魚沼の文化講座、イケビ恒例となった雪見展や一箱古本市、スポーツカードショー、講演会、各種ワークショップなど多彩な企画が目白押しです。

大村智博士の講演会に続いて、4月27日(土) 15時から「八色の森の美術展」でもお馴染みの作家、ヴィヴィアン佐藤さんの講演会『ジェンダーの視点から見たアートの世界』を開催します。「葦崎大村美術館所蔵品展」の会期中でもあり、作品鑑賞とあわせて

おいでください。また、翌日28日(日) 10時から昨年、大好評だった『オーラ似顔絵』を今年も企画しました。ヴィヴィアンさんとおしゃべりをしながら、似顔絵を描いていたワークショップです。私も昨年、ヴィヴィアンさんに描いていただいたのですが、自分では思いもしなかったオーラを感じると言われびっくりしました。この機会に、ヴィヴィアンさんに会いに来てください。ご参加お待ちしております。(山口加奈子)

◆春を迎えた美術館

温暖化の影響なのか、経験したことがないほどの少雪のため、八海山麓スキー場のイベントで披露する予定だった「雪の錯覚すべり台」の制作が中止になってしまいました。ところが、3月に入って、冬が逆戻りしたかのような天気は何日も続いています。といったも、降ってもすぐに消えてしまう春の雪です。標高の高い駒ヶ岳、八海山、巻機山の頂上付近はまだまだ深い雪に覆われているでしょう。歳時記を開くと、正岡子規の「雪残る頂一つ国境」の句を見つけました。

早い春を迎えた魚沼の大地。当館は今年度、大学、高校、小中学校、学童クラブ、子ども園など地域の教育機関との連携をよりいっそう強化し、美術館の内と外を自在に行き来しながら活動していきたいと考えています。出前授業、鑑賞型哲学対話、スキー場での夏と冬のイベント(風ぐるま、草むら迷路、錯覚すべり台)、高校生企画の美術展……。やることはいっぱいありますが、楽しくおおらかに実践する覚悟です。

今年は大きな企画展がいくつも控えています。どの展覧会も展示数が多いため、作品をじっくり鑑賞していただきたく、会期中何度でも利用可能な「特別チケット」を発売します。受付で取り扱いますので、ご利用のほどよろしくお願いたします。(高橋良一)



森田元子「緑衣」1933年

葦崎大村美術館

葦崎市出身で2015年にノーベル生理学・医学賞を受賞した大村智博士が長年にわたって蒐集した美術品を基に2007年に設立しました。コレクションは女性作家による作品、日本近代の洋画家・鈴木信太郎作品、日本の民藝運動を伝える陶磁器作品を主な柱とし、現在約4,000点を収蔵しています。開館10周年を記念する2017年には、館内に「大村智記念室」を開設。ノーベル賞受賞に至るまでの道のりや博士の人となりを感じてもらおう美術品等を展示しています。また、二階の展望室からは春夏秋冬を通して美しい眺望を楽しめ、美術品と美しい自然を共に味わえる美術館として、県内外の方に親しまれてい

ます。この度の所蔵品展では、女性美術家に焦点をあて、近現代に活躍した作家たちを一堂にご覧いただけます。多彩な表現の世界をぜひお楽しみいただけましたら幸いです。

お近くにお寄りの際は、ぜひ当館にも足をお運びいただけましたらと思います。(葦崎大村美術館 若林美帆)

山梨県葦崎市神山町鶴山1830-1

電話/FAX: 0551-23-7775

開館時間: 10:00 ~ 17:00

休館日: 水曜日(祝日の場合は翌日)

入館料: 一般500円、小中高生200円



① [南魚沼市市制施行20周年記念事業]

北里大学健康科学部開設記念
蕪崎大村美術館所蔵品展

■4月6日(土)～5月17日(金)

北里大学健康科学部の開設を記念して、2015年ノーベル生理学・医学賞を受賞された大村智博士(北里大学特別栄誉教授、女子美術大学名誉理事長)が長年にわたって蒐集された女性作家61人の作品97点を展示。南魚沼市市制施行20周年記念事業として開催します。

② [写真展]

北井一夫 写真の旅人

■5月25日(土)～7月7日(日)

日本が世界に誇る写真家・北井一夫氏のヴィンテージプリントを厳選。「抵抗」「村へ」「いつか見た風景」「三里塚」「沖縄放浪」「北京シリーズ」「新世界物語」「おてんきシリーズ」などの作品約300点を紹介。写真界も写真家もアツと驚く展覧会となります。特別協力：アートスペース シモダ

③ 第25回記念 八海山夢展

■7月13日(土)～8月31日(土)

魚沼在住の美術愛好家を中心に、地元の美術振興を目的に創設され、今回で25回目の開催となります。絵画・書道・写真・水石・工芸の5部門で募集し、約100名が出展します。主催は八海山夢展実行委員会。25回記念として講演会とコンサートを実施します。

④ [同時開催] 第7回 八海山ジュニア展

■7月13日(土)～8月31日(土)

令和5年度新潟県ジュニア展に入賞した近隣地域(南魚沼市と魚沼市)の児童生徒の作品を展示します。「八海山夢展」とのコラボレーション。

⑤ 第8回 八色の森の美術展
+八色の森の子ども絵画展 2024

■9月7日(土)～10月27日(日)

全国各地から、現代美術の世界で活躍する作家約40人が出品し、地元の子どもの作品と一緒に共同展示するという画期的な試みと、基調講演・文化講座・ワークショップ、鑑賞型哲学対話などの関連イベントによって各方面から高く評価されている美術展です。

2017年の第1回開催以来、今年で連続8回目となり、当初の予定通り今回がFinal展となります。

⑥ 高校生がキュレーションする美術展 (名称未定)

■11月2日(土)～12月15日(日)

地域と連携して活動する美術館構想のもと、昨年8月22日からスタートした企画です。高校生が主役となって、内容、名称、宣伝、展示など美術展開催にあたっての全ての課題を、1年間にわたって対話や議論を通して決定・実践するという前例のない美術展です。

※LED化工事予定 12月16日(月)～12月24日(火)

⑦ 第69回 南魚沼郡市児童生徒美術展

■1月6日(月)～1月21日(火)

南魚沼市と湯沢町の児童生徒の作品(絵画、デザイン、版画、立体)約400点と教職員の作品を展示。会期中、手仕事の作品を展示販売する雪見展と一箱古本市を開催します。会期中は入館無料となります。

⑧ 魚沼ベストショット展 Part 14

■1月25日(土)～3月9日(日)

美しい風景の宝庫・魚沼に魅せられた写真家が自慢のベストショットを展示。県展・市展などの入選者も多く、年々レベルアップしています。地元の写真愛好家を中心に、県外も含めて約50人が自慢の作品を出展します。

⑨ [冬季特別展示]

第8回 錯覚展 2025 「杉原教授の不思議な世界」

■1月25日(土)～3月9日(日)

東大名誉教授、明治大学研究特別教授で、世界ベスト錯覚コンテストで優勝実績のある錯視研究の第一人者、杉原厚吉先生が制作した新作作品を紹介します。また、3月の八海山麓スキー場ホワイトカーニバルでは巨大な「雪の錯覚すべり台」を公開します。

⑩ 池田記念美術館収蔵品展

■3月15日(土)～3月30日(日)

当館が所蔵している日本美術(絵画・彫刻)、書、東欧やモンゴルの絵画・彫刻、敦煌莫高窟の壁画図などの中から、普段展示していない作品を中心に、趣向を変えて紹介します。

